株式会社シードと「グリーンローン」を成約

本ローンが充当される設備は、株式会社格付投資情報センターにより、十分な環境改善効果が見込まれ、且つ、環境面・社会面における潜在的にネガティブな影響への配慮がなされている「グリーンビルディング」に該当することが確認されています。併せて、プロジェクトの評価、選定プロセス、用達資金の管理、レポーティングの妥当性により「グリーンローン原則」ならびに環境省の「グリーンローンガイドライン」に適合していることの確認がなされています。

株式会社シードは 1957 年に創立した東京都に本社を置くコンタクトレンズ及び関連製品の製造販売を主力とするメーカーです。お客様の「見える」をサポートするという企業ビジョンのもと、近視用・遠視用・乱視用や遠近両用などユーザーニーズを幅広くカバーするコンタクトレンズを中心に、眼科医療機器も数多く扱っており、日本のみならず欧州、アジアをはじめグローバルに展開しています。

シード新本社ビル(以下、当ビル)では、省エネ等の環境性能と同時に地域との共生を図ることをテーマとしており、ホール(2階)は地域イベント等への開放も可能とし、地域住民とのコミュニケーション強化を図ることを想定しています。また、従業員のリフレッシュや健康維持を目的としたラウンジ(ウェルネスラウンジ)を設置し、当ビルに関わる人たちがより健康な居住空間として過ごせるよう配慮しています。当ビルは、グリーンビルディング認証であるCASBEE Sランク、ZEB Readyを取得しています。

【本ローンの概要】

契約締結日 2024年9月27日

貸出人 株式会社三菱 UFJ 銀行

組成金額3 億円資金使途設備資金

<プロジェクト詳細>

適格プロジェクト	グリーンローン原則上の分類
シード新本社ビルプロジェクト	グリーンビルディング(環境配慮型ビル)





新社屋全景

5F ウェルネスラウンジ

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義 (パーパス) と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

以上